

<コラム> 欧米諸国の内航海運のシェア

我が国の内航海運は、その輸送特性である大量性、低廉性を活用して国内物流の大動脈を担っており、特に鉄鋼、石油、セメント等の基礎素材物資分野の輸送はそのほとんどが内航海運によるものである。これは、我が国が四方を海に囲まれていることに加え、臨海部を中心に工業地帯や主要消費地が立地しているという地理的特性が要因であると考えられる。

一方、欧米諸国においては必ずしも物流における内航海運のシェアは高くなく、それぞれの地理的特性によって、輸送機関別の貨物輸送割合は異なる。

各国の特徴としては、国土の広いアメリカにおいては鉄道の輸送シェアが高く、陸上の長距離大量輸送分野における鉄道の優位性を表している。一方、河川、運河等内陸水路が発達しているドイツは水運の輸送シェアが高いのが特徴となっている。

主要五カ国における輸送機関別の貨物輸送量

(単位：億トンキロ(％))

国別	項目	年度	1980 昭和55年	1990 平成2年	1995 平成7年	1996 平成8年	1997 平成9年
日本	鉄道	道	374 (9)	272 (5)	251 (4)	250 (4)	246 (4)
	自動車	道	1,789 (41)	2,742 (50)	2,946 (53)	3,055 (53)	3,063 (53)
	内航海運	道	2,222 (51)	2,445 (45)	2,383 (43)	2,418 (42)	2,370 (42)
	国内航空	道	3 (0)	8 (0)	9 (0)	10 (0)	10 (0)
	合計		4,388 (100)	5,468 (100)	5,590 (100)	5,732 (100)	5,689 (100)
アメリカ	鉄道	道	14,996 (37)	17,232 (37)	19,035 (38)	20,515 (39)	22,124 (40)
	トラック	道	8,930 (22)	11,826 (26)	14,014 (28)	14,610 (28)	14,819 (27)
	内陸水路	道	6,549 (16)	7,466 (16)	7,514 (15)	7,643 (15)	7,997 (15)
	航空	道	80 (0)	161 (0)	193 (0)	193 (0)	209 (0)
	パイプライン	道	9,461 (24)	9,397 (20)	9,203 (18)	9,509 (18)	9,670 (18)
	合計		40,016 (100)	46,082 (100)	49,959 (100)	52,470 (100)	54,819 (100)
イギリス	鉄道	道	176 (11)	158 (7)	137 (6)	133 (6)	133 (6)
	沿岸船舶(石油類)	道	959 (58)	1,363 (62)	1,345 (64)	1,437 (65)	1,496 (66)
	沿岸船舶(その他)	道	414 (25)	321 (15)	288 (14)	287 (13)	314 (14)
	パイプライン	道	4 (0)	236 (11)	223 (11)	235 (11)	212 (9)
	合計		1,654 (100)	2,188 (100)	2,109 (100)	2,208 (100)	2,277 (100)
フランス	鉄道	道	695 (32)	515 (26)	470 (24)	505 (25)	498 (24)
	内陸水路	道	979 (46)	1,148 (58)	1,153 (60)	1,221 (61)	1,320 (63)
	航空	道	122 (6)	72 (4)	60 (3)	56 (3)	59 (3)
	パイプライン	道	22 (1)	42 (2)	9 (0)	10 (0)	9 (0)
	合計		2,151 (100)	1,982 (100)	1,925 (100)	2,014 (100)	2,109 (100)
ドイツ	鉄道	道	649 (25)	618 (21)	518 (21)	691 (20)	688 (19)
	内陸水路	道	1,244 (49)	1,698 (57)	1,298 (52)	2,005 (57)	2,079 (58)
	航空	道	514 (20)	548 (18)	546 (22)	618 (18)	640 (18)
	パイプライン	道	3 (0)	4 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)
	合計		2,553 (100)	3,001 (100)	2,504 (100)	3,487 (100)	3,578 (100)

1. 運輸省運輸政策局情報管理部「海外運輸統計」による。

2. 単位未満の四捨五入のため100にならない場合がある。